

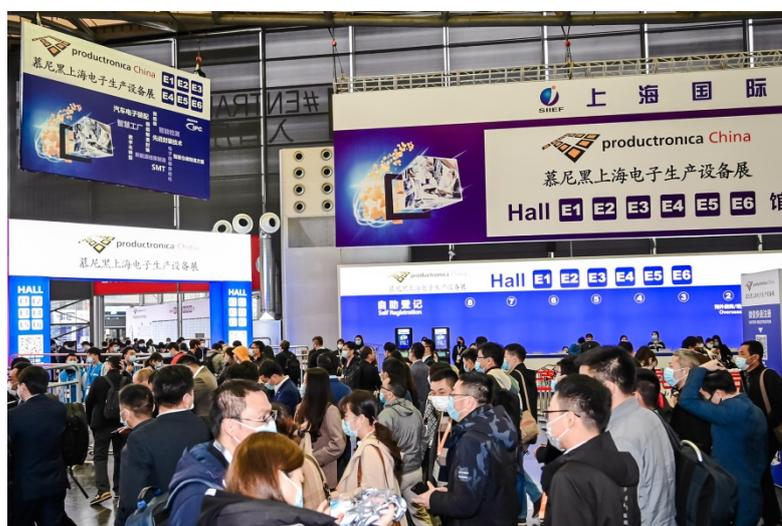
ファイナルレポート
 国際電子部品・製造機器専門見本市
 2021年3月17日～19日
 中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)

2021年3月22日

productronica China 2021 盛況のうちに幕を閉じる

Summary

- 735 の出展社と 76,393 人の来場者が集結
- productronica China は今回初めて単独開催 (electronica China は4月開催へ)
- 展示スペースはパンデミック前の開催に比べて 12% 増!
- 中国企業と国際企業が一体となって、電子部品のインテリジェント製造への道を切り開く



Facts & Data

会 期	2021年3月17日(水)～19日(金) 9時～17時(最終日のみ16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	65,000 m ² (*2020年:90,000 m ²)
出 展 企 業	735 社 (*2020年:20ヶ国 1,373 社)
来 場 者 総 数	76,393 人 (*2020年:81,126 人)
主な出展品と 出展技術	<productronicaChina> SMT、はんだ付け技術、検査・測定技術・品質保証、製造サブシステム、製造補給・ マテリアルフロー技術、プリント基板・回路基材装置製造、ケーブル加工技術、コイル製品、 受託製造サービス(EMS)、オーガニック/プリント・エレクトロニクス、部品製造、 各種オペレーティング機器、関連サービス
出展日本企業 (現法出展など含む)	伊藤忠商事(株)、SRF テック(株)、加賀電子(株)、(株)サンエイテック、(株)島津製作所、 JUKI(株)、信越化学工業(株)、(株)シンキー、新明和工業(株)、タクミ商事(株)、(株)東京ウエルズ、 (株)ナックコーポレーション、鍋屋バイテック(株)、日本オートマチックマシン(株)、 (株)日本スペリア社、日本パルスモーター(株)、白光(株)、ピコ(株)、(株)FUJI、ファナック(株)、 武蔵エンジニアリング(株)、ヤマト科学(株)、ヤマハ発動機(株) ほか(50音順)
専 用 U R L	www.productronica-china.com (英語)

*productronicaChina と electronicaChina の共同開催数値

productronica China 2021 は、2021 年 3 月 17 日から 19 日まで中国・上海新国際見本市会場 (SNIEC) で開催され、成功裏に終了した。今回初めて electronica China と日程を分けることによって、スペースを拡大して開催することができた。65,000 m² の展示スペースに 735 社が出展し、インテリジェント製造のための革新的なソリューションを紹介して、76,393 人の来場者を惹きつけた。展示スペースはパンデミック前の 2019 年開催に比べて 12% 拡大した。2020 年の経済停滞を乗り越え、productronica China 2021 はインテリジェントな電子部品製造に活気のある環境を提供し、ビジネスチャンスであふれていた。

主催者メッセ・ミュンヘンのマネージングダイレクター、ファルク・ゼンガーは、productronica China が、パンデミックの影響を大きく受けている業界全体の再興に対して大きく貢献したことに満足感を示し、「革新的電子部品製造の主要なビジネスプラットフォームのひとつとして、productronica China は中国のエンドユーザーとのビジネスを強化し、未来の技術を共有するために大きな役割を果たしている。将来市場がますます大きくなることを確信しており、また世界経済も徐々に回復すると信じている。productronica China はこの情勢を見定め、いっそう大きな役割を担っていく」と語った。

スマート・エレクトロニクス製造に焦点！

5G、新インフラ、ビッグデータ、産業用インターネットなどの発展に後押しされ、スマート製造はデジタル経済を加速させる重要なキーワードとなった。

メッセ・ミュンヘン上海の最高執行役員であるスティーブン・ルーは、2020 年の危機後にエレクトロニクス産業がどのように進展するかについて、「インテリジェント製造は、デジタル経済の要として間違いなく国際競争の主要分野となるだろう。そのため、インテリジェント製造におけるビジネスチャンスをつかみ、IoT の統合を強化することがますます重要になる。出展各社は、デジタル経済における成長の一層の促進を図った最先端の技術と製品を紹介しており、productronica China が業界全体のビジネス促進に貢献していることを大変嬉しく思う」と述べた。



SMT 業界とスマートファクトリー向けの適応性に優れたインテリジェント製造

インテリジェント製造の概念を採用し、効率的かつ機敏で適応性の高い SMT 製造モデルを確立することは、電子部品製造業界にとっても非常に重要になっており、SMT の製造能力と品質を向上させるためにも不可欠となっている。productronica China 2021 では、パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)、(株)FUJI、ヤマハ発動機(株)、武蔵エンジニアリング(株)、Europlacer 社、Yishi 社、Kurtz Ersa 社などが、スマート・ファクトリーソリューションを実演し、実際の実装を想定した技術的ソリューションを中国の電子部品製造業界に紹介した。

さらに、Europlacer 社、Kurtz Ersa 社、YXLON 社などが、スマートファクトリーのデモラインエリアで、干支の一つ「丑」のマスコットの製造プロセスを完全に再現して実演した。この実演には、インテリジェントウエアハウジング、表面実装溶接、プラグイン溶接、光学検査、電気性能検査、ロボットアセンブリ、工場データ収集などの技術が含まれている。

Europlacer (上海) 社の Kirby Zhang 氏は、「productronica China は当社の製品を業界関係者に紹介できる非常に良いビジネスプラットフォームである。今回とても多くの来場があり、出展結果に大変満足している」と述べた。

ワイヤーハーネスによって支援された新エネルギー車、ゼロエミッションを可能に

ワイヤーハーネスの技術と加工機器の革新は完全な電気自動車への強力な促進剤となるだろう。productronica China 2021 では日本オートマチックマシン(株)、TE Connectivity 社、Komax 社、

Schleuniger 社、Schunk Sonosystems 社などが、新しく開発された自動ワイヤー加工機器とその技術を紹介した。このような革新的なソリューションと強い技術力は、生産性を向上させるためのデジタルでインテリジェントな製造と柔軟な加工技術の実現を可能にする。

Komax (上海)社の Sean Rong 氏は、「当社は長年 productronica China に出展していて、毎回満足の結果が得られている。来年もぜひ出展したい」と話した。

オートメーション業界の急速な成長により、インテリジェント製造技術の向上を更に促進

中国におけるインテリジェント製造業界は大幅に進展し、多くの代表的なアプリケーションシステムと市場が形成され、産業用ロボットやインテリジェント輸送機器などの新興産業は 30%以上の割合で急速に成長している。中国では、自動化、デジタル化、インテリジェンスに向けた製造業の変革を加速し続けると予測されている。今年の productronica China では、産業オートメーション技術を持つ多くの企業が、電子部品製造向けのスマートファクトリーソリューションを紹介した。

また、ファナック株式会社や HIWIN 社など、産業用ロボットや自動化産業の巨大企業に加え、JAKA 社や FLEXIV 社、Iplus Mobot 社、Siasun 社、Standard Robots 社、ForwardX Robotics 社などの中国企業や中国と外資系企業のコラボしたロボットメーカーなども数多く顔を見せた。

さらに、MOONS'社、Han's Automation Precision Control Technology 社、Beckhoff Automation 社、Leadshine 社、B&R Industrial Automation Technology 社、Delta 社、Pepperl+Fuchs 社、Atlas Copco 社といった企業も、電子部品製造業界をターゲットにした高品質で革新的な技術を紹介した。

Hexagon Manufacturing Intelligence 社の Chen Guo 氏は、「当社は、productronica China には毎回とても満足している。出展社の質が高く、会場には最先端の技術が勢揃いしている。当社もこの機会を利用して、新しい技術ソリューションを市場に展開し、当社のブランドイメージをより多くの顧客に浸透させることができている」と語った。

スマートディスペンシング機器は、パンデミック後の時代における技術的発展の鍵

現在、ディスペンシングは接着剤や液体の制御を含むあらゆる工業過程で広く活用されている。パンデミック後の時代においては、企業は、より一層自動化技術を促進することによってコストを削減し、効率化を図り、リスクを回避する方法を考える必要がある。そのためには、ディスペンシングラインをより効率化し、生産性を高め、そしてスマートにすることが重要となってくる。

productronica China 2021 では、Nordson 社、Scheugenpflug 社、bdtronic 社、Dopag 社、ViscoTec 社などが、ディスペンシング技術を網羅した展示をして来場者を惹きつけた。また、電子化学材料企業である信越化学工業(株)、Henkel 社、Dow 社、H.B. Fuller 社、Panacol 社、WEVO-Chemie 社、DELO Industrial Adhesives 社などが新しいディスペンシングや化学材料の技術と製品を紹介し、3C、自動車医療などの業界来場者に対して、多くの革新的なソリューションを発表した。

Nordson (China)の Kenny Chen 氏は、「productronica China はエレクトロニクス業界のすべての産業チェーンをカバーしており、パートナーや顧客との関係強化の場として大変有益な場だ。当社は 10 年以上出展社として参加しており、今後も見本市とともに成長していきたい」と語った。

業界専門家による未来志向のフォーラム



展示エリアの設営に加え、多くの業界フォーラムが開催された。「2021 中国ワイヤーハーネスフォーラム」では、Tyco 社、Rosenberg 社、そして SAIC Volkswagen 社の専門家が講演し、自動車用ワイヤーハーネスの加工や高電圧ワイヤーハーネスの自動化など、最近の注目議題について意見交換された。「国際ディスペンシング & 接着技術イノベーションフォーラム」では、Nordson 社、Hoenle 社、Dow 社の専門家が講演し、様々なシーンにおけるディス

ペンシングと接着技術のアプリケーションにつて、議論が交わされた。

また、今回初めて開催された「インテリジェント製造及び産業オートメーションフォーラム」では、R&D Automation Technology と Phoenix 社の専門家を招き、革新的な技術とソリューションについての見解を共有した。

2020 年に難しい課題に直面したことで productronica China は生まれ変わった。今回から electronica China と別々に開催することによって展示スペースを拡張し、業界を網羅する革新的技術のプラットフォームとして新たな一歩を踏み出した。

電子部品、システム、アプリケーションの専門見本市 electronica China 2021 は、2021 年 4 月 14 日から 16 日まで SNIEC で開催される。

また、次回 productronica China は 2022 年 3 月 16 日から 18 日まで SNIEC で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.productronica-china.com（英語）

資料請求、各種お問合せ先：メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp（日本語） www.messe-muenchen.de（英語/ドイツ語）